

HAMMOND

XPK-100

MIDI PEDALBOARD

取扱説明書

Features Guide

安全にお使いいただくために

電源について

- 電源は一般の100Vコンセントに付属のACアダプター(SUZUKI AD シリーズ)を接続し、そこから本体のDCジャックに接続して下さい。
指定のACアダプター以外は使用しないで下さい。
- 他の機器と接続する場合は、誤動作を防ぐため必ず接続する機器の電源を切ってから接続して下さい。
- ACアダプターのコードを踏みつけたり、機器に挟んで傷つけたりしないで下さい。
本体のDC入力ジャック付近にDCコードの抜け防止のためコードフックがあります
DCコードを余裕をもたせて巻き付けて使用して下さい、強く巻き付けるとコードを痛めますので注意して下さい。
- ACアダプターをコンセントから抜く場合は、ACアダプター本体をもって抜いて下さい
コードをひっぱって抜くとショートや断線の原因となりますので絶対しないで下さい。
- 長時間、本体をご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて下さい。

設置場所について

次のような場所でのご使用や保存は、故障の原因になりますので、ご注意ください。

- 温度が極端に高い所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど)
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビの画面が見えにくくなったり、ラジオから雑音ができることがあります。このような時は、本機をそれらの機器から遠ざけてご使用下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で空拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。
汚れが激しい場合は、中性洗剤で汚れを拭き取ってから、必ず、柔らかい布で空拭きしてください。
また変色の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、絶対にご使用にならないで下さい。

その他の注意事項

- 本体に強い衝撃(落としたり、ぶつけたり等)を与えないで下さい
- 本体に水がかかったり、変なにおいや煙がでた場合は、直ちに電源を切り、すみやかに買い求めいただいた販売店もしくは、鈴木楽器販売営業所までご連絡下さい。

目次

安全にお使いいただくために	a
目次	b
1 基本操作	
MIDIの基礎知識	1-1
各部の名称	1-2
あなたのオルガン(MIDIキーボード)との接続	1-3
音源モジュールとの接続	1-4
電源の入れ方(プレイ・モード)	1-5
簡単な設定変更(エディットの方法)	1-6
変更したプリセットのセーブ(書き込み)	1-7
パネルのプッシュスイッチのロック機能	1-8
トランスポーズの連動について	1-8
コントロールプッシュスイッチ機能	1-8
2 エディットの詳細	
ペダルチャンネルの設定	2-1
コントロールチャンネルの設定	2-2
音色プログラムの指定方法	2-2
コントロールプッシュスイッチの設定	2-3
コントロールプッシュスイッチの機能一覧	2-4
システムの設定	2-5
3 参考資料	
初期設定に戻すには(オールイニシャライズ)	3-1
故障と思う前に	3-2
コントロール プッシュスイッチの効果が得られない	3-2
プリセットのコピー	3-2
MIDIマージの注意点	3-3
MIDIデータフロー	3-4
製品仕様	3-4
MIDIインプリメンテーション・チャート	3-5
アフターサービスと保証について	3-6

MIDIの基礎知識

MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interface の略で、電子楽器の演奏情報(「どの鍵盤を押したか」「どの音色を選んだか」「ビブラートスイッチをONした」など)をMIDIメッセージに変換して送り、他の電子楽器や音源を簡単に鳴らしたり、コンピューターに演奏を記録したり出来る、国際規格です。

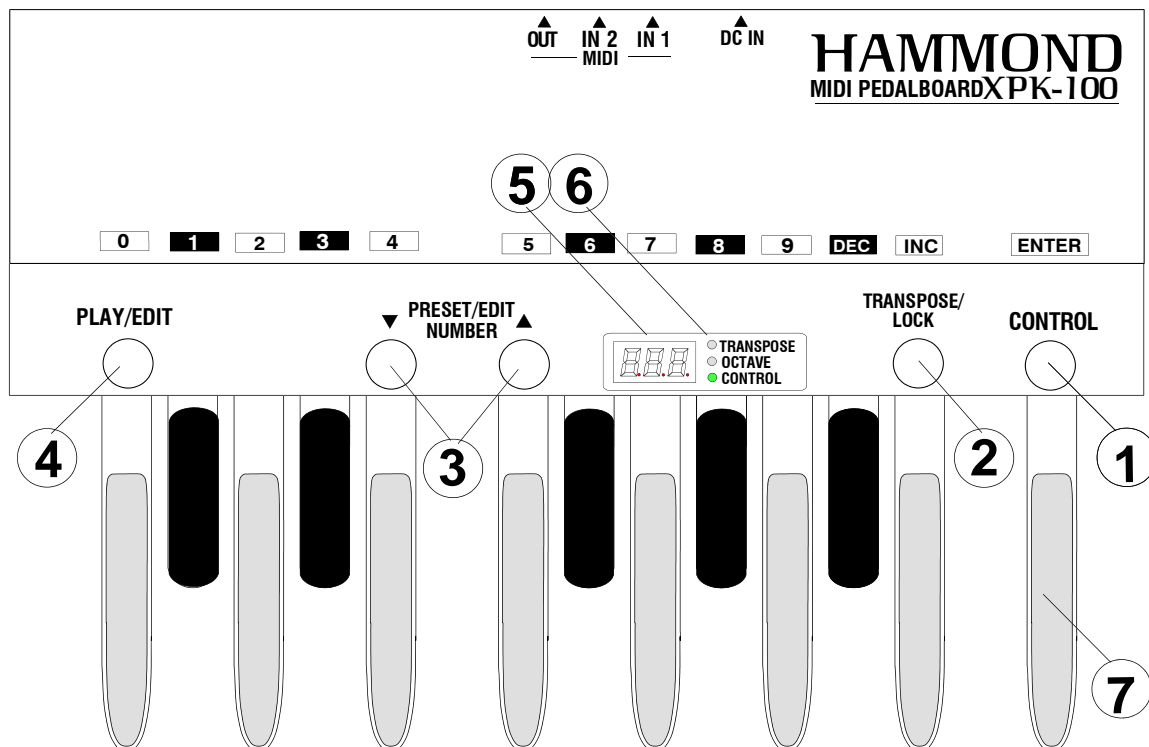
XPK-100を使用するにあたって、下記の3つの注意点があります。

1. 信号は楽器の MIDI OUTより他の機器のMIDI INに送られます。
(送信側をマスター 受信側をスレーブと言います。)
1本のケーブルで16の異なった音色(楽器)を鳴らす事が出来ます、これにはそれぞれの音色(楽器)に番号(1-16)をつけて区別されます。、これをMIDIのチャンネルと言います。このMIDIチャンネルが OUT(送信)側とIN(受信)側で異なった場合は、音は発音されません。
(XPK-100のペダル鍵盤はチャンネル3に初期設定されています。)
2. MIDIによる音色の選択はプログラムナンバーを音源(受信側)に送ることで音源の音色を選びます、音色は音源に依存しますので接続する機器の取扱説明書をお読み下さい。
(XPK-100には音源が内蔵されていません。)

またこのプログラムナンバーを使ってオルガンのプリセットやシングルキーボードのパネルメモリーなどを選ぶことで、リズムや音色の設定を一度に呼び出すことも出来ます、この場合は受信側の楽器のコントロール(グローバル)チャンネルにプログラムナンバーを送ります。
(初期設定ではチャンネル1にプログラムナンバーを送ります。)
3. 演奏の補助機能としてどんなスイッチを操作したか(コントロールチェンジ)がMIDIで送れます、例えばビブラートなどを演奏中にON/OFFすることが出来ます。接続される鍵盤楽器や音源モジュールにより効果が出ない場合もありますので接続する機器の取扱説明書をお読み下さい。
4. 2~3段鍵盤でのご使用に関しては
SK-1/2、XK-1C、XK-3C などキーボードまたは
XM-2、XM-1などのようにMIDIチャンネルごとのマルチティンバーに対応した音源モジュールを使用しないと、音色をそれぞれ鍵盤ごとに変えて演奏することができませんので音源モジュールの仕様を確認してご使用ください。

各部の名称

フロントパネル



① コントロール プッシュスイッチ

初期設定ではベースサスティンをON/OFFします。(XB-1、XK-2に対応)

② トランスポーズ プッシュスイッチ

ペダル鍵盤とMIDI INに接続された鍵盤のトランスポーズを設定します、プレイモード中に押し続けると プッシュスイッチの誤動作を防ぐ(パネルロックモード **LOC**)に入ります。

③ プリセット/エディット ナンバー プッシュスイッチ

XPK-100のプリセットを選びます。(初期設定ではXK-3、XK-1のプリセットが連動します。)

④ プレイ/エディット プッシュスイッチ

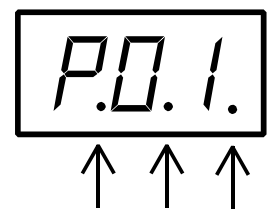
プリセットの設定を変更するエディット・モードに切り替えたり、プリセットの書き込みをします。(エディット方法は **1-6** を参照して下さい)

⑤ センターディスプレイ

動作モードとプリセットナンバー エディットナンバーを表示します。

PO1 - **P15** プレイ・モード プリセット1-15
E00 - **E13** 点滅 エディット・モード エディットナンバーと設定値を表示

P E の文字の下にはエディットドット(点)が、数字の下にはMIDI INの確認用ドットが表示されます。



⑥ 動作確認用ランプ

トランスポーズ(**TRANSPOSE**) ペダル鍵盤が移調されたとき点灯します。

オクターブ (**OCTAVE**) ペダル鍵盤のオクターブが変更されたとき点灯します。

コントロール (**CONTROL**) コントロールプッシュスイッチがONされたとき点灯します。

⑦ ペダル鍵盤

プレイモード中はペダル鍵盤として、エディット・モード中は数値や設定の入力スイッチとして使います、(プレイ・モード以外ではペダル鍵盤としては動作しません)

1-3 基本操作

⑧ MIDI ジャック

MIDI OUTは音源(XK-1, XK-3, XM-2)等のMIDI IN1に、

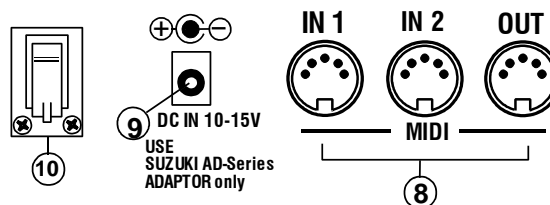
MIDI IN1, 2はXM-1との接続の場合などにMIDIキーボードのMIDI OUTを接続します、

⑨ DC 入力ジャック

専用のACアダプターを接続します。

⑩ コードフック

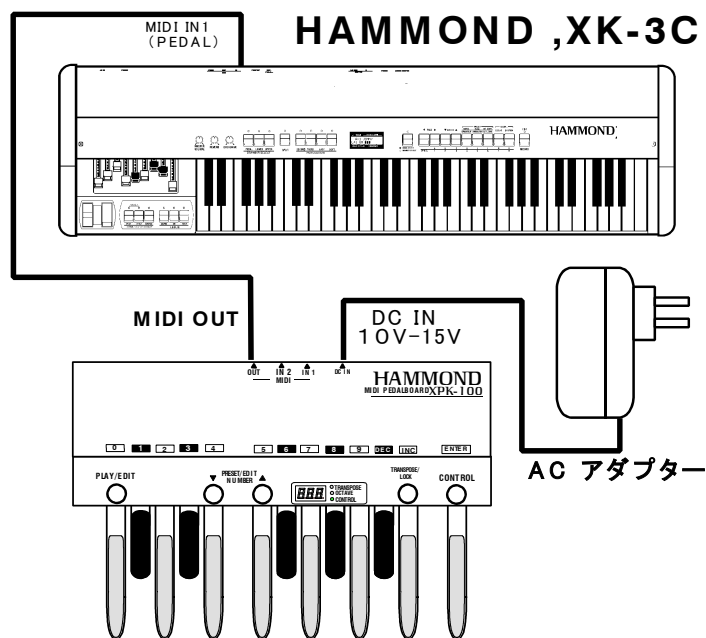
ACアダプターのコードをからめて
抜けを防止します。



リアパネル

あなたのオルガン(MIDIキーボード)との接続方法

ベースペダルとして 図1



オルガンスタイルの演奏を可能にするための接続方法

図1のシステムにMIDIキーボードを追加することで2段鍵盤+ペダル鍵盤の演奏が可能です。

XK-3Cなど MIDI IN2 (LOWER)がある場合は、そこにMIDIキーボードのMIDI OUTを接続し。

SK-1, XK-1などMIDI INが1つしかない場合は XPK-100側のMIDI INに、

MIDIチャンネルをキーボードの下鍵盤チャンネルCH-2、に設定したMIDIキーボードを接続します。

注意

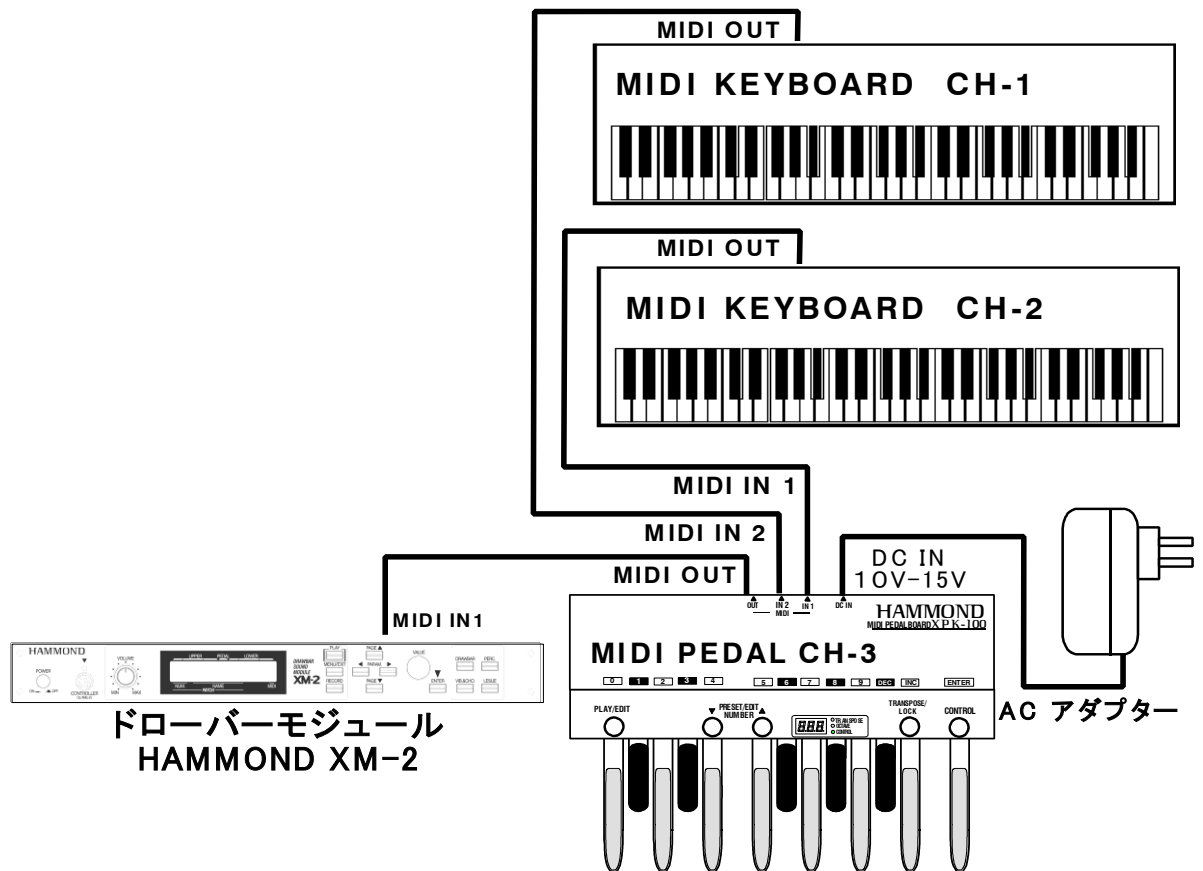
図にはMIDI接続とDC電源のみ表示されておりますが、

実際にはオーディオ(音声)出力が XK-1, XK-3Cよりアンプに接続され

スピーカー(レスリー)などの再生装置が必要です。

音源モジュールとの接続

XM-2との接続例 図2



MIDIマージ機能について

図2のように複数のMIDI INの信号をあたかもオーディオ信号のミキサーのように1つのMIDI OUTにまとめる機能をMIDIのマージ機能と言います。

この機能を使う事で、1つの音源モジュール(XM-2)に2台の鍵盤とXPK-100を接続し演奏を楽しむことができます。

この場合 XM-2のMIDI IN1のMIDI INモードはCHANNELに設定し、また上鍵盤のMIDI CH-1、下鍵盤はCH-2、ペダルはCH-3に設定してください。

(XM-2、XM-1などのようにマルチティンバーに対応した音源を使用しないと音色をそれぞれ鍵盤ごとに変えて演奏することができませんので 音源モジュールの仕様を確認してご使用ください)

1-5 基本操作

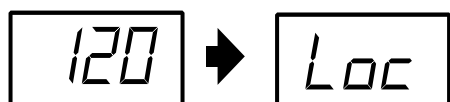
電源の入れ方、(プレイ・モード)

XPK-100は電源スイッチがありませんのでACアダプターよりDCケーブルをDC INジャックに差し込むだけで電源が入ります。
(本体裏側にコードフックがありますので、DCケーブルの抜け防止にお使い下さい。)

XPK-100にはプレイ・モードとエディット・モード、プリセットセーブ・モードの3つの動作状態があり電源を入れると自動的にプレイ・モードから始まります。

表示1点滅

表示2



表示1が1秒間点滅 (システムのバージョンを表示 1. 20)

表示2はプレイ・モードでパネルスイッチ操作の効かないロック機能が動作していることを表示しています

(工場出荷状態ではこの状態となっています)

ロック機能の解除は トランスポーズスイッチを押し続けます。)

注) 下記のプリセットの説明のため ロック機能を解除し **PO1** 表示のプレイモードにしてください。

XPK-100はプリセット「**PRESET**」と呼ぶMIDIのいろいろな設定をまとめたメモを参照して動作します、このプリセットには下記の設定が初期設定として書き込まれています。

表 1

E00	ペダル鍵盤のMIDIチャンネル	3
E01	トランスポーズの設定	0(移調なし)
E02	オクターブの設定	0(ペダル音域 36-48)
E03	ペダル鍵盤の発音方法	Mon(モノ)単音で発音する
E04	ペダル鍵盤の音を消さずに演奏させる機能	OFF 通常演奏
E05	ペダル鍵盤の音量設定	127(最大音量)
E06	ペダル鍵盤の音色調整	100(少し強い音)
E07	音色の指定とコントロールに使うMIDIチャンネル	1
E08	コントロール プッシュスイッチでON/OFFする機能の指定	ペダルサステインロング(XB-1、XK-2に対応)
E09	コントロール プッシュスイッチのON/OFF動作の指定	オルタネイト(1度押すと ON 2度目でOFF)
E10	プログラムナンバー	プリセットナンバーと同じ番号(1-15)
E11	バンクナンバー指定 上位番号	0
E12	バンクナンバー指定 下位番号	0

1、電源が入った状態でまず、ペダル鍵盤での発音(とりあえずベースの音色でなくても)を確認して下さい。

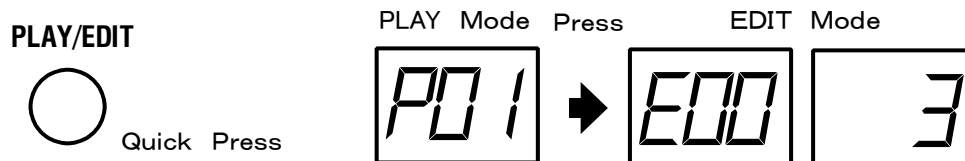
2、XPK-100からオルガンやシンセサイザーの音色を切り替えたい場合は(ロックを解除し)プリセット/エディット ナンバーセレクトボタンでプリセットを切り替えて見て下さい。

接続した機器のプリセットまたは、ペダル音色、または鍵盤の音色が変化するか確認して下さい。(XK-1、XK-3のプリセットとは初期設定で連動します、もし なにも切り替わらない時は参考資料の **3-1** を参照して下さい)

簡単な設定変更(エディットの方法) **PLAY/EDIT**

プリセットの設定変更(エディット)には下記の5つのステップがあります

- 1-1、まずエディットモードに入るためにプレイ/エディット プッシュスイッチを短く押します。
(押し続けるとプリセットのセーブモードに切り替わりますので注意して下さい。)

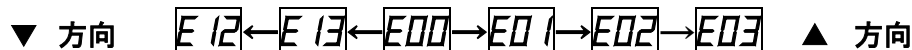


上の図の例では、エディット ナンバー **E00** と 設定値(バリュー) **3** を確認できます。
この時XPK-100のペダル鍵盤は数値(機能)の入力に使われるため発音はしません
それぞれのペダルは(通常)本体上部に表示された数字の入力ができます。

ペダル入力数値表

Low C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B	Hi C
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-1	+1	ENTER

- 1-2、次にエディットしたいパラメーター(エディットナンバー)を選ぶにはプリセット/エディットナンバー プッシュスイッチを押して選びます。



(電源をOFFするまで前回エディットしたエディットナンバーを覚えています。)

- 1-3、エディットナンバーがOKなら数値を入力します、例として 16を入力してみましょう。
まずC#ペダル「1」を押します 表示が点滅をやめ **1** の表示で止まります。
次にF#ペダル「6」を押します **16** の表示

(A#、Bペダルは現在の入力した数字より-1, +1します、押し続けるとリピート動作します。)
(現在選ばれたパラメーターの最低値以下や最大値以上には設定できません。)

- 1-4、数値(バリュー)の入力確定のために HiC ペダル「ENTER」を押します。

数値が書き換えられエディットドットが点灯し表示は点滅となり **E00** と **.16** の表示

- 1-5、プレイモードに戻るために もう一度 HiC ペダル「ENTER」を押します。

プレイモードに戻るために HiC「ENTER」を押すと **PD 1** の表示にもどり
ペダルで発音します。(上記の場合16CHで発音する事になります)

上記の変更は仮の変更で中央のLEDの左文字の下にエディットドットが現れます。
この変更は電源を切られたり またはプリセットを切り替えると消えます。

変更したプリセットのセーブ(書き込み)

1-6 で仮に作った設定を プリセットにセーブ(書込)していつでも呼び出せるようにしてみましょう。(15個のプリセットデータは、約10年間は内容が消えません。)

2-1 プリセットセーブ・モードに入るには

プレイモード **P01** 表示中またはエディット **E00** 点滅中にプレイ/エディットプッシュスイッチを1秒以上押し続けます。

P01 の表示が点滅しプリセットのセーブモードに入ったことを知らせます。

2-2 書き込む(セーブする)プリセットのナンバーの指定

何番のプリセットに書き込むかを プリセット/エディット ナンバープッシュスイッチで選びます。

2-3 セーブ(書き込み)

プリセットのナンバーがよろしければ HiC「ENTER」ペダルを押します。

SA の表示が点滅し書込が行われます、書込が終わるとエディットドットは消えます。

書込のキャンセルをするには **P01** 点滅中にプレイ/エディット プッシュスイッチを押します

RA の表示が点滅しプレイ・モードに戻ります。

プレイ・モードからの移調(TRANSPOSE)設定

トランスポーズ(移調)を簡単に行うためにトランスポーズ プッシュスイッチがありプレイ・モードから移調が設定できます。(押し続けると **LOC** 機能となります。)

まずトランスポーズ プッシュスイッチを素早く押しはなすと

現在のトランスポーズの状態が表示されます。 表示 **0**

つぎにトランスポーズ(移調)したいキー(音程)のペダルを押します。

たとえば半音上げたいときはC#ペダルを押します。 表示 **1** が点滅し「P01」に戻ります。

ペダル入力数値表(トランスポーズ設定の場合のみ)

Low C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B	Hi C
0	1	2	3	4	5	6	-5	-4	-3	-2	-1	ENTER

設定したトランスポーズは一時的な変更ですので必要ならプリセットに書込(セーブ)してください。

プリセットのトランスポーズやオクターブの値がノーマル以外(トランスポーズやオクターブが0以外にセットされている)の場合は自動的にトランスポーズLED、オクターブLEDが点灯します。

パネルプッシュスイッチのロック機能

演奏中のスイッチの誤動作を防ぎます。

トランスポーズ プッシュスイッチを押し続けると表示が **LOC** に切り替わり、
 コントロール プッシュスイッチ以外の動作を無効に(ロック)します。
 (ロック機能は電源が切れてもメモリーされます。)

ロック機能の解除は もう一度トランスポーズを押し続け **POI** 表示に切り替えます。

トランスポーズの連動について

XK-1、XK-3、XM-2との接続時は、XKまたはXMのトランスポーズを設定することで
 XPK-100のペダル音も自動的にトランスポーズします。

XB-1、XK-2 のシステムバージョンが1.1以上の場合には下記の
 方法でペダル(XPK-100)とオルガンのトランスポーズが同時に設定されます。

- A、XPK-100のトランスポーズ変更でXB-1のトランスポーズを変更する。
 (システムエクスクルーシブで自動的に変更されます。)
- B、XB-1のMIDIページの「Rx Transpose」を(on) することで
 XB-1側のトランスポーズを設定するだけで外部よりのMIDI INにも
 トランスポーズがかかる。(XPK-100のトランスポーズ変更は不要です。)

鍵盤を持たない音源との接続の場合はXPK-100でトランスポーズを変更
 するだけで、MIDI IN1、MIDI IN2に接続された鍵盤のキーナンバーは
 自動的にトランスポーズされます。

コントロールプッシュスイッチ機能

いろいろな演奏中のスイッチの切り替えをXPK-100より切り替えるために
 コントロールプッシュスイッチを備えています。

出荷時の初期設定はXB-1のペダル音色のロングサステインスイッチのON/OFF
 が切り替えられます。(**EOB** の機能が **PSL** に初期設定されています。)

詳しい機能は、2-6の機能一覧表を参考にして下さい。

プッシュスイッチの動作をエディットパラメータの **EO9** で設定できます、
 初期値はオルタネイトです。

- 表示 **ALT** オルタネイト ボールペンのように押す度にONとOFFが切り替わります。
- 表示 **non** モーメンタリー スwitchを押している間のみONします。

2-1 エディットの詳細

エディットの詳細

ユーザーは自由にプリセットの中身を変更し演奏に合わせたプリセットに書き換えることができます。順にエディットのナンバーと取り得る数値を説明します。

付属のエディットパラメーターシートを必要に応じて本体パネルに貼り付けてご使用下さい。エディットナンバーと機能がすぐ確認でき便利です。

ペダルチャンネルの設定

E00 ペダルMIDIチャンネル 初期値 3 1-16に設定できます。

E01 トランスポーズの設定 初期値 0 -5から6 半音単位

オクターブが0の場合でペダル音域から一側に設定された場合折り返し発音します。
(low Cより下の音はオクターブ上の音程で鳴ります。)

E02 オクターブ(発音域)の設定 初期値0 -1から+4 オクターブ

(-1オクターブに設定するには ペダルA#「DEC」を押して下さい。)

E03 発音モード ポリ/モノの設定 初期値モノ(単音) モノ/ポリ(複音モード)

通常はモノで使用します、演奏形態によりポリに切り替えして和音などの演奏が可能ですが受信側の発音モードに依存します。

E04 ペダルホールド オン/オフ設定 初期値 OFF ON/OFF

この機能をONするとペダルから足を離してもペダル音が鳴り続けます。
ペダル音を止めるにはトランスポーズプッシュスイッチを押します。

E05 ペダル音量の設定 初期値 127(最大) 1-127

E06 は固定されたベロシティの値を決めます。音色などの調整に使って下さい。

初期値 100 1-127

(**E05**、**E06** の設定を誤って数値を1など最低の値にすると発音し無いことがありますので注意して下さい。)

以上のエディット **E00**—**E06** はペダル鍵盤のMIDIチャンネル(3)に送られます。

コントロールチャンネルの設定

コントロールチャンネルの設定に入る前にXPK-100の2つのMIDIチャンネル
ペダルチャンネルとコントロールチャンネルについて説明します。

コントロールチャンネルとは全体のコントロールデータを受信するチャンネルです。
(グローバルコントロールチャンネルともいいます。)

例えば1台のオルガンのパネルには上鍵盤、下鍵盤、ベース鍵盤の音色がまとめてプリセット
されています、また全体に掛かるレスリーのスピードを変更するスイッチが有ります。
これらの操作スイッチをON/OFFまたはプリセットを指定するのがコントロールチャンネルです。

ペダル鍵盤チャンネルは主にペダル音の発音と音量などのコントロールをします。
またXPK-100に1つのチャンネルしか無い場合はペダル鍵盤の音色しか変更できません。
このようにフレキシブルに全体とペダル鍵盤の両方をコントロールするためにXPK-100には
2つのMIDIチャンネルがあります。

E07 コントロールMIDIチャンネルの設定 初期値 1 1-16、**PEd**

(**PEd**をセットするには 17と入力するかINCを押し続けます。)

音色の指定方法で直接ペダル鍵盤の音色を指定する場合は設定を「**PEd**」に合わせて下さい。
自動的にペダル鍵盤のチャンネルと同じチャンネルに **E0B**から**E12**の
コントロールデータが送られます。(初期値ではXK-3 / 1 にあわせて1に設定されています。)

(メーカーによりMIDIチャンネルの使用方法が異なりますので、音源側の取扱説明書を
参照して下さい。)

音色(プログラム)の指定方法

E10でMIDIのプログラムナンバーを指定します。 初期値 プリセットのナンバー

0FF / 1-128

XPK-100からプリセットなどの変更を行わない場合は **0FF**を指定して下さい。

(0 の入力または DECを押し続ける)

最近の音源モジュールなど128以上の音色を持つものが多くなっています
このような音源の音色を指定するためにバンクセレクトナンバーのMSB、LSB
を使います、ただしMSB、LSBをどのような規則で使うかは機種により異なります。
このバンクセレクトを使用する場合は音源の説明書をよくお読み下さい。

E11 **E12** バンクセレクト MSB(上位番号)LSB(下位番号) 初期値 0 0-127

コントロール プッシュスイッチの設定

E08 コントロール プッシュスイッチのファンクション(機能)の設定 初期値「PSL」

37の機能から選べます(2-4の機能一覧表を参照)
ペダル鍵盤で指定または、ペダルB「INC」を押し続けて選びます。

E09 でコントロールスイッチの動作を設定出来ます。初期設定 **FLT**(オルタネート)

FLT オルタネートは押す度にON-OFFが切り替わります。
プッシュスイッチを離したときOFFしたいときは **nan**(モーメンタリー)を選びます。

例1 XB-1、XK-2のレスリーのスロー/ファースト切り替えをコントロール プッシュスイッチに
設定しスイッチを押したときだけファーストにしたい場合は、下記のように設定します。

E08 を **LSF** に設定し 次に **E09** を **nan** に設定します。

例2 モジュレーションをコントロール プッシュスイッチに設定し
スイッチの動作を押す度にON-OFFしたい場合は、下記のように設定します。

E07 に効果をかけたいMIDIチャンネルを設定し **E08** を **no4** に設定し

次に **E09** を **FLT** に設定します。

(モジュレーションの深さは、3段階から選べます。)

(参考) MIDIによるコントロールには主に下記の4つの方法があります。

- 1、コントロールチェンジによるコントロール (モジュレーションなど)
- 2、機種に依存するNRPN(ノンレジスタードパラメーターナンバー)によるコントロール
(* + XB-1、XK-2、XM-1に対応)
- 3、リアルタイムメッセージによるコントロール
(¥ リズムのスタート、ストップ、コンティニュー)
- 4、キーナンバーを変更する移調(トランスポーズ)処理

コントロール プッシュスイッチの機能一覧

表示	機能	ペダル鍵盤
PSL	* ペダルサステインロングスイッチ	ON/OFF LowC
PSn	* ペダルサステインミディアムスイッチ	ON/OFF C#
PE3	* パーカッション サードスイッチ	ON/OFF D
PE2	* パーカッション セカンドスイッチ	ON/OFF D#
LSF	* レスリー スロー/ファーストスイッチ	ON/OFF E
LSa	* レスリー ON スwitch	ON/OFF F
LSb	* レスリーブレーイクスイッチ	ON/OFF F#
oLt	ペダル1オクターブ アップ	ON/OFF G
tra	トランスポーズ設定を0に戻す	OFF/ON G#
dnP	ダンパーペダル(コントロール64)	ON/OFF A
Par	ホルタメント (コントロール65)	ON/OFF (以下はINCを押す)
SoS	ソステヌート (コントロール66)	ON/OFF
SoF	ソフトペダル (コントロール67)	ON/OFF
rSt	¥リズムスタート/ストップ	スタート/ストップ
rCo	¥リズムコンティニュー/ストップ	コンティニュー/ストップ
no3	モジュレーション 小	ON/OFF (48/0)
no4	モジュレーション 中	ON/OFF (65/0)
no6	モジュレーション 大	ON/OFF (96/0)
uL1	* V1/C1 スwitch	ON/OFF (127/0)
uL2	* V2/C2 スwitch	ON/OFF (127/0)
uL3	* V1/C1. V2/C2両方	ON/OFF (127/0)
uL4	+C2 スwitch	ON/OFF (127/0)
uL5	+C3 スwitch	ON/OFF (127/0)
uon	+ヴィブラート スwitch	ON/OFF (127/0)
Con	* コーラス スwitch	ON/OFF (127/0)
C16	コントロール16	ON/OFF (127/0)
C17	コントロール17	ON/OFF (127/0)
C18	コントロール18	ON/OFF (127/0)
C19	コントロール19	ON/OFF (127/0)
C91	リバーブスswitch	ON/OFF (127/0)
C92	トレモロスswitch	ON/OFF (127/0)
C93	コーラススswitch	ON/OFF (127/0)
C94	エフェクトスswitch	ON/OFF (127/0)
C95	コントロール95	ON/OFF (127/0)
C96	コントロール96(INC)	ON/OFF (127/0)
C97	コントロール97(DEC)	ON/OFF (127/0)

* はXB-1, XK-2固有の機能です、+ はXM-1固有の機能です、)

システムの設定

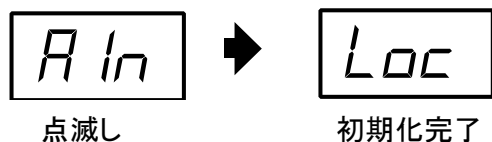
E13でXPK-100の全体の設定します、このパラメーター設定は個々のプリセットには入りませんので注意して下さい。

1. エディット中のプリセット設定のリセット(工場出荷設定に戻す)
ペダルC#を押し **r5t** の表示を確認し HiC「ENTER」を押します。
r5t が点滅しプレイモードに戻ります。
2. MIDI IN1のマージ機能 ON/OFF
ペダルDを押すと **nan** または **naF** の表示が出ます。
マージのOFF中は **nan** の表示がでます。
マージのON中は **naF** の表示がでます。
ONからOFF OFFからONに切り替えたい場合はHiCを押します。
設定はメモリーされます。
3. 本機のプリセットデータを他の機器に転送する(データOUT)
ペダルD#以上を押しと **dau** の表示がでて、MIDI OUTより
プリセットの内容を他のXPK-100やコンピューターなどに転送します。
準備ができたならHiCを押します。

(他のXPK-100やシーケンサーなどからデータを受信する場合はMIDI IN1に接続して下さい、受信は **nl** を表示し自動的に処理されます。)

初期設定に戻すには。(オールイニシャライズ)

すべてのプリセットを工場出荷の設定に初期化(イニシャライズ)するには
プリセット/エディット ナンバープッシュスイッチの(△)と(▽)を同時に押しながら
電源をDC入力ジャックに接続して下さい。



故障と思われる前に

こんなときには、以下のことを確認してみましょう。

1, ペダル鍵盤を押しても音源で発音されない

- A, XPK-100 MIDI OUTから相手の機器のMIDI INにケーブルが接続されているか、
- B, ペダル鍵盤のチャンネルと音源のチャンネルが異なっている、
- C, ベロシティ及びボリュームが最低の値になっていないか、
- D, 音源の発音音域外にトランスポーズや、オクターブが設定されていないか。
(とくにオクターブが-1に設定された場合に注意が必要です。)
- E, 相手の機器のオーディオアウトが接続されていない、

2, シングルキーボードのプリセット(パネルメモリー)の変更がしたい。

シングルキーボード側でチャンネル1のプログラムチェンジでプリセットを切り替える設定にする。(パネルメモリーの外部からの呼び出し方法を調べる。)

3, ペダル鍵盤の音色を変更したい。

コントロールチャンネルの設定を **PEd** に設定して、プログラムチェンジをペダル鍵盤チャンネルに送る。

4, **Err**表示が出たら

Err MIDI受信にエラーが起こった時に表示します。
大量のMIDI信号が送られてきていますので正しく受信が出来ません。
相手の機器がデータダンプを始めた場合やシーケンサーやパソコンなどのMIDI OUTに接続された場合起こります。

対策 データダンプを止めるまたは演奏データを減らす、
違うMIDI OUTにデータを振り分けて下さい。

コントロール プッシュスイッチの効果が得られない

コントロール プッシュスイッチの効果が得られない

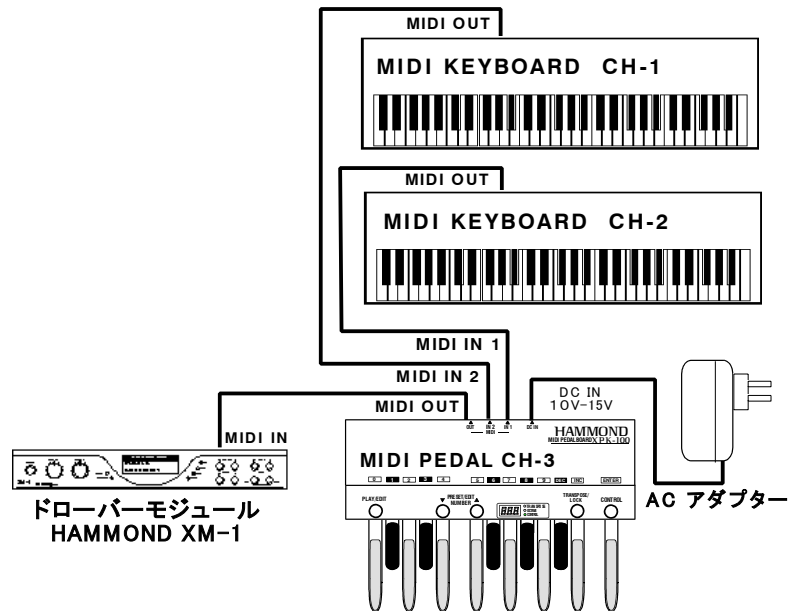
コントロール プッシュスイッチのコントロールは全体に効果をかけたい場合とチャンネル毎に指定したい場合で、コントロールチャンネルの設定に注意が必要です。
たとえば

右の図のような接続の時

EQB機能を **dnP**に設定し
ペダルのダンパーをON/OFF
したいときは、
EQ7を **PEd**に設定します。

上鍵盤(CH-1)のダンパーを
ON/OFFしたいときは
EQ7を上鍵盤のチャンネル1に
あわせませす。

このようにコントロールチャンネルを設定することで演奏のコントロールがいろいろ可能となります。(XK-3, XK-1, XM-2は全体のコントロールをUPPERチャンネル(初期設定1)で行います。)



他社のMIDIキーボードや音源を接続する場合はMIDIの説明の部分をよく読みチャンネルを設定してください、また音源によってコントロールの一部を受信できないものもあります。
インプリメンテーションチャートを確認して下さい。

プリセットのコピー

1, プリセット設定のコピー。

まずコピー元のプリセットを選びます、次にプレイ/エディット プッシュスイッチを押し続けプリセットセーブ・モードに入ります、ここで書き込みたいプリセットを指定します。
ペダル「ENTER」を押すと、元のプリセット設定がセーブ(コピー)されます。


2, 全部のプリセットに同じプリセットを書き込む。

プリセットのコピーと同じようにもとのプリセットを選びプリセットセーブ・モードに入り、書き込むプリセットを選ぶときは **ALL** を選びます。

(▽ **P13** ← **P14** ← **P15** ← **ALL** → **P01** → **P02** → **P03** △)

MIDIマージの注意点

A, MIDIマージの注意点

MIDI IN1, IN2に同じMIDIチャンネルが入力されるとキーのON/OFFが重なり発音が正しくされなくなります。この場合は異なったMIDIチャンネルに設定して下さい。(ペダル鍵盤のMIDI チャンネル(の設定))と同じ場合も同様のことが起こります。)

症状として同じ音程の鍵盤を押したり、離れたしすると発音中の音が消えます。

B, MIDI信号のループ

XPK-100のMIDI OUTに接続されたMIDI機器のMIDI OUTからXPK-100のMIDI INにケーブルを接続したとき プログラムチェンジなどのデータがMIDI INからOUTに無条件で出力されるため誤動作を起こす事が有ります。

例

- 1, XPK-100 プリセットを切り替えると MIDI OUTにプログラムチェンジを送る
- 2, オルガンのプリセットが選ばれる。
- 3, オルガンのMIDI OUTからオルガンのプリセットに書き込まれたプログラムチェンジが送信される。
- 4, オルガンのMIDI OUTからXPK-100のMIDI INにプログラムチェンジが送られる。
- 5, マージ機能により プログラムチェンジは無条件で MIDI OUTに送られる。
- 6, XPK-100 MIDI OUT からプログラムチェンジを送る

このように 2-6 の動作を繰り返し、MIDI データを送り続けます。

症状としてディスプレイのMIDIモニターが点灯しっぱなしになり、発音が遅れます。

対策としてXPK-100のプリセットを外部から切り替えたい場合は、MIDI IN 1をマージOFFして使用して下さい。

MIDI データフロー

キーナンバーはMIDI IN1、2 ともに ペダル鍵盤トランスポーズ時に変更されます。

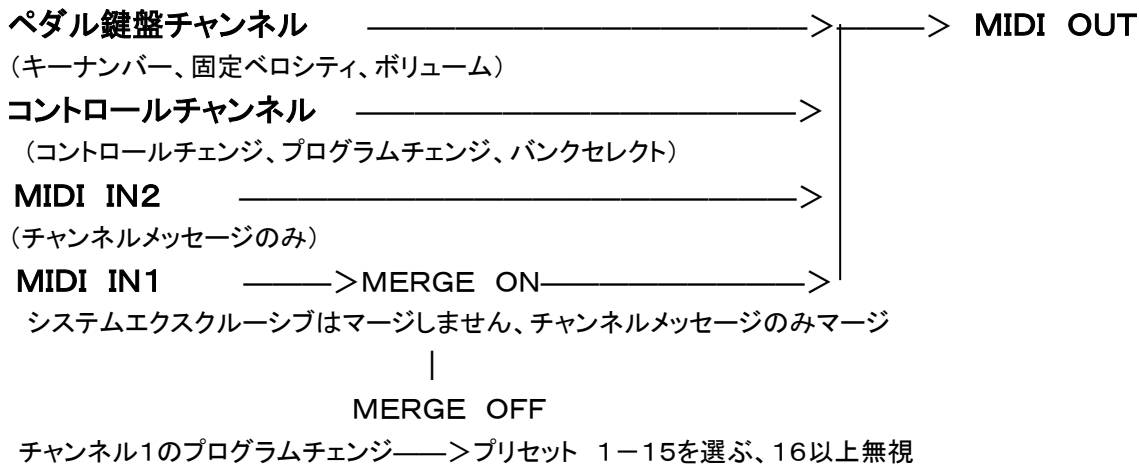


表 1

E00	ペダル鍵盤のMIDIチャンネル	3
E01	トランスポーズの設定	0(移調なし)
E02	オクターブの設定	0(ペダル音域 36-48)
E03	ペダル鍵盤の発音方法	Mon(モノ)単音で発音する
E04	ペダル鍵盤の音を消さずに演奏させる機能	OFF 通常演奏
E05	ペダル鍵盤の音量設定	127(最大音量)
E06	ペダル鍵盤の音色調整	100(少し強い音)
E07	音色の指定とコントロールに使うMIDIチャンネル	1
E08	コントロール プッシュスイッチでON/OFFする機能の指定	ペダルサステインロング(XB-1に対応)
E09	コントロール プッシュスイッチのON/OFF動作の指定	オルタネイト(1度押すと ON 2度目でOFF)
E10	プログラムナンバー	プリセットナンバーと同じ番号(1)
E11	バンクナンバー指定 上位番号	0
E12	バンクナンバー指定 下位番号	0

製品仕様

- 鍵盤 : 13鍵 ペダル鍵盤
- 表示 : 7 セグメントLED * 3桁、3LEDインジケータ(トランスポーズ、オクターブ、コントロール)
- スイッチ : 5 プッシュスイッチ (PLAY/EDIT・PRESET/EDIT NUMBER UP・DOWN
TRANSPOSE/LOCK・CONTROL)
- プリセット : 15 (メモリーバックアップ)
- 接続端子 : DC入力ジャック、MIDI IN1、IN2、OUTジャック
- 付属品 : ACアダプター(AD1-1010 又は AD1-1508)、
MIDIケーブル(1.5m)、エディットパラメーターシート
- 外形寸法 : W 56cm、D 39cm、H13cm
- 重量 : (本体のみ)8.5kg (梱包完)11kg
- 消費電力 DC 10~15V 0.15A

[MIDI PEDALBOARD]

Model: XPK-100

MIDI Implementation Chart

Date: 2004, 4/16

Version: 1.20

Function..	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1-16 *1 *****	1 *2 *****	*1 PK=3, Control=1 Default Setting
Mode Default Changed Altered	Mode 3 × *****	Mode 3 × *****	
Note Number: True voice	24-96 *3 *****	× ×	*3 Nomal Oct 36-48
Velocity Note ON Note OFF	○ *4 ×	× ×	*4 Fixed value
After Key's Touch Ch's	× ×	× ×	
Pitch Bend	×	×	
Control Change 0, 32 1 6, 38 7 16, 17, 18, 19 64, 65, 66, 67 91, 92, 93, 94, 95 96, 97 98, 99	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	× × × × × × × × ×	BANK SELECT MODULATION DATA ENTRY VOLUME General Purpose 1-4 Pedal Switches Effect 1-5 Depth INC, DEC NRPN LSB, MSB
Prog Change : True#	○ *****	○ *2 1~ 1 5	PRESET SELECT
System Exclusive	○ *6	○ *7	
Common : Song : Song Sel : Tune	× × ×	× × ×	
System : Clock Real Tim : Commands	× ○	× ×	FAh, FCh, FBh
Aux Messages : Local ON/OFF : RESET ALLCONTROLEERS : All Notes OFF : RESET	× ○ ○ ×	× × × ×	(123)
Notes	*2 When MIDI Merge is OFF (E13) *6 TRANSPOSE SET, NRPN ON, RAM DATA OUT *7 RAM DATA IN		

Mode 1: OMNI ON, POLY Mode 2: OMNI ON, MONO Mode 3: OMNI OFF, POLY Mode 4: OMNI OFF, MONO
○: Yes ×: No

3-6 参考資料

アフターサービスと保証について

- 1、この商品には、保証書を添付しております。保証書は販売店にて販売店名、ご購入日、シリアルナンバー等記載の上お渡しいたしますので、所定の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 2、保証期間はご購入日より1年間とさせていただきます。ただし当社の責任と思われない故障に関しては有料となる場合もあります、また保証は日本国内に限らせていただきます。
- 3、アフターサービスに関してはお買い上げ販売店、または下記記載の営業所へご連絡ください。

株式会社鈴木楽器製作所

スズキお客様ご相談窓口 FreeDial 0120-7-94019
(9:00~12:00、13:00~16:00)

〒430-0852 浜松市中区領家 2-25-12 053-461-2325

株式会社 **鈴木楽器製作所**

XPk-100 和文取説
00457-40028B Ver1.24 141118